

# 1 級土木施工経験記述 記入用紙 A 「安全管理・施工計画」

会社名	氏 名	メールアドレス

**【総合評価】**

<input type="checkbox"/> 合格圏	良くまとまっています。本試験で、この記述を再現できるようにしましょう。
<input type="checkbox"/> 準合格圏	あと一步で合格圏です。添削をもとに修正すれば合格圏に達します。
<input type="checkbox"/> 努力圏	改善の余地があります。文章を簡潔にし、要点をまとめて書きましょう。
添削者コメント	

**【問題】** あなたが経験した土木工事を1つ選び、工事概要を具体的に記述したうえで、次の〔設問1〕、〔設問2〕に答えなさい。  
 なお、あなたが経験した工事でないことが判明した場合は失格となります。

**【工事概要】** あなたが**経験した土木工事**に関し、次の事項について解答欄に明確に記入しなさい。

**【注 意】** 「経験した土木工事」は、あなたが工事請負者の技術者の場合は、あなたの所属会社が受注した工事内容について記述してください。例えば、あなたの所属会社が二次下請業者の場合は、発注者名は一次下請業者名となります。  
 なお、あなたの所属が発注機関の場合の発注者名は、所属機関名となります。

**(1) 工事名**

工 事 名	
-------	--

**(2) 工事現場における施工管理上のあなたの立場**

立 場	
-----	--

**(3) 工事の内容**

①発注者名	
②工事場所	
③工 期	
④主な工種	
⑤施 工 量	

1 級土木	氏 名
タイプA「安全管理・施工計画」	

〔設問 1〕 工事概要に記述した工事の「安全管理」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

ただし、交通誘導員の配置のみに関する記述は除く。

- (1) 具体的な**現場状況**と特に留意した安全管理上の**技術的課題**と、その課題を解決するために**検討した項目**（8行）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

添削者記入欄（以下の欄には記入しないでください。）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

1 級土木	氏 名
タイプA「安全管理・施工計画」	

(2) (1)で記述した検討項目の**対応処置**とその**評価**（8行）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

添削者記入欄（以下の欄には記入しないでください。）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

1 級土木	氏 名
タイプA「安全管理・施工計画」	

〔設問2〕 工事概要に記述した工事の「**施工計画**」の作成に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

ただし、設問1と同一内容の解答は不可とする。

(1) 施工計画立案に先立ち行った現場の事前調査で判明した**施工上の課題**（8行）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**添削者記入欄**（以下の欄には記入しないでください。）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

1 級土木	氏 名
タイプA「安全管理・施工計画」	

(2) (1)で記述した課題について施工計画の作成にあたり反映した**対応処置**とその**評価**（8行）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**添削者記入欄**（以下の欄には記入しないでください。）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

# 1 級土木施工経験記述 記入例 A 「安全管理・施工計画」

会社名	氏名	メールアドレス

**【総合評価】**

<input type="checkbox"/> 合格圏	良くま	書き方の見本	よう	ようにしましょう。
<input type="checkbox"/> 準合格圏	あと一		圏	に達します。
<input type="checkbox"/> 努力圏	改善の			めて書きましょう。
添削者コメント				

**【問題】** あなたが経験した土木工事を1つ選び、工事概要を具体的に記述したうえで、次の〔設問1〕、〔設問2〕に答えなさい。  
 なお、あなたが経験した工事でないことが判明した場合は失格となります。

**【工事概要】** あなたが**経験した土木工事**に関し、次の事項について解答欄に明確に記入しなさい。

**【注 意】** 「経験した土木工事」は、あなたが工事請負者の技術者の場合は、あなたの所属会社が受注した工事内容について記述してください。例えば、あなたの所属会社が二次下請業者の場合は、発注者名は一次下請業者名となります。  
 なお、あなたの所属が発注機関の場合の発注者名は、所属機関名となります。

**(1) 工事名**

工 事 名	市道24号線新松山地区道路改良工事
-------	-------------------

**(2) 工事現場における施工管理上のあなたの立場**

立 場	現場主任
-----	------

**(3) 工事の内容**

①発注者名	栃木県栃木市都市整備部整備課
②工事場所	栃木県栃木市山田地内
③工 期	令和6年11月10日～令和7年2月26日
④主な工種	路面切削工、基層工、表層工
⑤施 工 量	路面切削厚さ t=10cm・面積 A=1,500 m <sup>2</sup> 、 基層厚さ t=5cm・面積 A=1,500 m <sup>2</sup> 、 表層厚さ t=5cm・面積 A=1,500 m <sup>2</sup>

〔設問 1〕 工事概要に記述した工事の「安全管理」に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。

ただし、交通誘導員の配置のみに関する記述は除く。

(1) 具体的な**現場状況**と特に留意した安全管理上の**技術的課題**と、その課題を解決するために**検討した項目**（8行）

本工事は、市道 24 号線山田地区の舗装の老朽化に伴い、道路の幅員 5.5m、延長 210m の道路を改良する工事で、基層と表層を施工するものであった。工事場所は駅周辺の道路で、歩行者及び一般車両の交通量が多かった。

工事中は片側交互通行で作業するため、道路幅が狭くなり、工事車両と歩行者又は工事車両と一般車両が接触する恐れがあり、第三者災害を防止する安全対策が課題となった。第三者災害を防止するために、以下の検討を行った。

①歩行者や一般車両に対する注意喚起の方法、②バックホウによる掘削作業時の歩行者や一般車両との接触防止、③歩行者通路の設置

(2) (1) で記述した検討項目の**対応処置**とその**評価**（8行）

検討の結果、現場において、以下の対応処置を行った。

① 工事予告看板を工事 250m 手前から 50m 間隔で、安全看板を工事車両の出入口に設置し、歩行者、一般車両及び工事車両に注意を喚起した。

② 掘削作業は、小旋回型のバックホウを使用し、バックホウ旋回の操作は、オペレーターの目視確認と誘導員の指示の 2 通りで実施した。

③ 歩行者用の通路は、カラーコーンとバーを使用して通路幅 1.5m を確保した。また、歩行者の通行中は、作業を一時中止させる措置をとった。

以上の対応処置により、作業員の安全意識も高まり、無事故で工事を完了できた。

〔設問 2〕 工事概要に記述した工事の「**施工計画**」の作成に関し、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。  
ただし、設問 1 と同一内容の解答は不可とする。

(1) 施工計画立案に先立ち行った**現場の事前調査**で判明した**施工上の課題**（8 行）

現場の事前調査において、アスファルトプラントは、施工場所から距離にして 20 km 離れた位置にあり、施工時期が寒冷期にあるため、アスファルト混合物の運搬中に混合物の温度が低下することが判明した。

混合物の温度が低下した状態で舗設すると、所定の締固め度を得られないため、アスファルト混合物の温度管理が課題となった。

課題の解決にあたり、以下の検討を行った。①プラント出荷時の混合物の温度設定、②混合物の運搬中におけるダンプトラック荷台の保温方法、③初転圧時・二次転圧終了時・交通開放時における混合物温度の設定

(2) (1) で記述した課題について施工計画の作成にあたり反映した**対応処置**とその**評価**（8 行）

検討の結果、現場において、以下の対応処置を行った。

①敷きならし時の混合物の温度が 110℃を下回らないようにするため、混合物の出荷時の温度を 170℃に設定し、さらに現場での待機時間を短縮した。②混合物の運搬中には、ダンプトラック荷台に保温シートを 2 枚重ねて、混合物の温度低下を防止した。③初転圧時では混合物の温度 110～140℃、二次転圧終了時では混合物の温度 70～90℃、交通開放時では混合物の温度 50℃以下を確認した。

以上の対応処置により、舗設現場において、所定の締固め度を得られ、工事を完了することができた。